白河市立大信中学校　学校だより

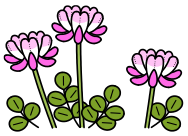
第　４７　号
発行日：令和４年３月２３日
文　責：校長　星野　亜希

三年先の稽古

【た】たくましく健やかな生徒　【い】いのちを尊ぶ温かな生徒　【しん】真実と夢を追求する生徒

※大信中学校ホームページもあわせてご覧ください。

令和3年度修了式



３月 23 日（水）、令和３年度修了式を行いました。前日は一日雪が降り、「修了式前日は雪」ということで令和３年度修了式はある意味、忘れられないものとなりました。修了式では、次のような話をしました。

朝、外に出て皆さんの登校を待っていると桜のつぼみが膨らみ始めていることに気付きます。今年の白河の桜の開花は、4月6日頃という予想が出ています。桜の季節はなぜか気持ちもワクワクするものです。桜は、「暖かい冬だから早く咲くというわけではない」と聞いたことがあります。桜の開花には「休眠打破」という過程があり、桜は、一度きちんとした寒さにさらされないとつぼみがふくらみ始めないそうです。桜は、夏に次の年の春に咲く準備ができますが、だんだん寒くなってくる秋、一度活動が止まり、眠った状態になります。そして、冬。とても寒い状態になると眠りから覚めて活動を再び始めます。この後は、皆さんもよく知っているように暖かい日光を浴びて徐々につぼみをふくらませていき、最後はきれいな花を咲かせます。このように桜は、気温が暖かくなったから花を咲かせる準備を始めるのではなく、寒さで目を覚まし、だんだん春に向かって準備を始めるのです。これは、皆さんと共通する部分があると思います。みなさんもこの1年をかけて蓄えてきた力を発揮するときがまもなくやってきます。この3学期は、部活動が思うようにできずに、部活動に情熱を注いできた皆さんにとっては、何をしたらよいのか、今のままの自分でよいのか、悩んだ人もいたかもしれません。しかし、自分をしっかりとコントロールしながら、来年度に向けて自分なりの目標を設定し、寒い3学期、小さな努力を積み重ねてきたことが、次のステップでこれまで以上に活躍するために、必要であったことは言うまでもありません。3学期も全校生で感染症対策に努めたこと、自主学習ノート提出率 100%を達成した日が1，2学期に比べて3学期は多かったこと、1学期から3学期へかけて徐々にテストの成績が上がった人が多かったこと。この3学期は健康に気をつけながら落ち着いた生活を送り、一人一人が力をつけることができた充実した3学期だったように思います。「三年先の稽古」の1年目、2年目。この3学期のあなたの頑張りに、この1年間のあなたの頑張りに、大きな拍手を送りたいと思います。

さて、3学期の始業式に、3学期は、“感謝”をテーマに「互いに支え合う3学期」とすることをみなさんにお願いしました。中学校最大の行事である卒業式では、準備も含めて、みなさんの式に臨む姿勢から3年生に対する「感謝」の気持ちがしっかりと伝わりました。また、毎日の清掃でも、全校生が無言で取り組む10分間のすばらしい取組は、大信中の誇れるものの1つであり、毎日使う校舎に対しての「感謝」の気持ちが示されていると感じました。

「『心』は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。その気持ちをカタチに。」これは、東日本大震災以降、ほとんど毎日、テレビでACジャパンのCMで流れていたものです。まさに、今学期は「感謝の気持ち」を形にした3学期であったと思います。

最後に、4月からは、1学年進級し新入生を迎えます。卒業生から渡されたバトンをしっかり受け取り、大信中学校の歴史に素晴らしい新たなページを刻んでいく1年としてほしいと願い、修了式のあいさつといたします。

保護者の皆様へ

今年度も新型コロナウイルス感染拡大状況をみながらの一年となりました。全職員が「今できる最大限のことを精一杯やっていく」という共通理解のもと各種行事に取り組んでまいりました。保護者の皆様からいただきました学校評価アンケート等によるご意見を生かしながら来年度、今年度よりもまた一歩進んだ形での学校運営に努めてまいります。今年度一年間のご協力に心より感謝申し上げます。